

数理解析研究所講究録 555

短期共同研究

概均質ベクトル空間の展望

禁帯出期間

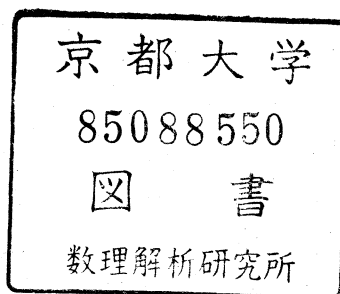
60. 4. 22 — 4. 29

数研図書室

京都大学数理解析研究所

1985年3月

短期共同研究
概均質ベクトル空間の展望
報告集



1984年 7月 2日 ~ 7月 6日

研究代表者 室 正和 (Masakazu Muro)

目 次

1. 例外領域上の超幾何関数について 1
近畿大・理工 長岡 昇勇 (Shōyū Nagaoka)
2. $SU(2,2)$ のCohomological Hardy Space 9
東大・理 松本 久義 (Hisayosi Matumoto)
3. 概均質ベクトル空間のGauss 和 32
阪大・理 川中 宣明 (Noriaki Kawanaka)
行者 明彦 (Akihiko Gyōja)
4. 概均質ベクトル空間のL関数 48
立教大・理 佐藤 文広 (Fumihiro Sato)
5. 概均質ベクトル空間の相対不変超関数について 61
高知大・理 室 ^改正和 (Masakazu Muro)
6. \mathbb{Q}_p 上の概均質ベクトル空間の相対不変式の複素巾のフーリエ変換について 85
阪大・理 村上 順 (Jun Murakami)
7. ある種の概均質ベクトル空間の相対不変式のFourier 変換について 93
名大・理 寺西 鎮男 (Yasuo Teranishi)
8. 概均質ベクトル空間の分類について 101
筑波大・数学 笠井 伸一 (Shin-ichi Kasai)
9. 2個の単純群を半単純成分にもつ可約な概均質ベクトル空間の分類について 106
筑波大 犬塚 晶明 (Masaaki Inuzuka)